

第二十四回 帝國議會 貴族院 沖繩縣及東京府小笠原島伊豆七島ニ於ケル酒造稅ニ關スル法律案 特別委員會會議事速記第一號

付託議案

沖繩縣及東京府小笠原島伊豆七島ニ於ケル酒造稅ニ關スル法律案  
沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案  
酒母、膠及麴取締法中改正法律案  
煉乳原料砂糖戻稅法案  
地方稅制限ニ關スル法律案

委員氏名

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 委員長 伯爵正親町實正君 | 副委員長 男爵松平 正直君 |
| 委員 伯爵柳原 義光君  | 子爵牧野 忠篤君      |
| 小松原英太郎君      | 江木 千之君        |
| 男爵高崎 安彦君     | 男爵吉川 重吉君      |
| 千坂 高雅君       | 古市 公威君        |
| 大谷嘉兵衛君       | 木村誓太郎君        |
| 宮崎喜久太郎君      | 鎌田 榮吉君        |
|              | 男爵小澤 武雄君      |
|              | 男爵目賀田種太郎君     |
|              | 男爵青山 元君       |
|              | 柴田 家門君        |
|              | 榮吉君           |

明治四十一年三月七日(土曜日)午前十時二十五分開會

○委員長(伯爵正親町實正君) 是ヨリ開會イタシマス、今日ハ沖繩縣及東京府小笠原島伊豆七島ニ於ケル酒造稅ニ關スル法律案、是カラ順序ニ調査ニ掛ラウト思ヒマス、一應政府委員ノ辯明ヲ請ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 沖繩縣及東京府小笠原島伊豆七島ニ於ケル酒造稅ニ關スル法律案、此提出ノ理由ハ既ニ本會ニ於テ政府委員ヨリ説明ラ致シテアリマス、此地方ニ酒造稅ヲ施行イタシマセヌト酒稅ノ取締上、甚ダ不便ヲ感ズルト云フ次第デアリマス、故ニ稅法ヲ此地方ニ施行スルト云フコトニシタイ、斯ウ云フノガ本案ノ趣意デゴザイマス、沖繩縣並ニ小笠原島伊豆七島ニ稅法ヲ施行イタシマセバ、從テ酒造稅ニ若干ノ收入ガ伴ウテ生ズルノハ無論デアリマス、酒造稅法ヲ此地方ニ施行スル大要ノ趣意ハ收入ヲ増加シヤウト云フノガ主タル趣意デハナイト云フコトヲ申上テ置キマス、ソレレ今日マテ沖繩縣並ニ小笠原島其他ニ酒造稅法ヲ施行シテアリマセヌト爲ニ是等ノ地方カラ酒類ガ段々ト密輸出ラシテ參リマス、ソレガ爲ニ沖繩縣ノ酒類出港稅ニ於テモ其收入ガ減ルト云フ狀況ガアリマシテ、同時ニ又酒造稅ヲ負擔シマセヌ所ノ小笠原島テ造ラタ酒ガ内地ニ密輸入シテ居リマス、ソレガ爲ニ内地ノ酒造者ガ大ナル影響ヲ被リ從テ内地ニ於キマス所ノ酒造稅ニ依テ得テ居リマスル收入ニ影響ヲ及ボシテ參ラヌトモ限リマセヌ、是等ノ點ヲ取締スルニハドウシテモ酒造稅法ヲ彼ノ地ニ施行イタシマセヌケレバ取締ガ立タヌノデゴザイマス、今日ノ沖繩縣ノ狀況ヲ見マスルト沖繩縣

デハ營業免許稅ト云フモノガ行ハレテ居リマス、即チ一ツノ營業場所ニ付イテ一年幾ラ、斯ウ云フ單純ナル免許料ヲ取テ酒造營業ヲ許シテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ沖繩縣ノ酒造業者ノ製造ノ場所ニ付イテ十分ナル監督ヲスルコトガ今日出來テ居リマセヌ、唯免許料ヲ取テ營業ヲ免許スルガケニナラズ居リマスカラ、誰ガドレ程ノ酒ヲ造ラタト云フコトモ實際能ク分ラヌ有様デアリマス、從テ其造ラタ酒ガ各地ノ海岸カラ密輸出ラシテ出港稅ヲ拂フベキモノヲ拂ハズニ出テ行クコトガ行ハレマシテ、今日ノ儘ニ致シテ置キマシテハ沖繩縣ノ酒類出港稅ヲ收入モ十分ニ確保スルト云フ譯ニ行カヌ有様デアリマス、然ラバドウ云フ風ニシテ取締ルガ宜シイカト申シマスレバ即チ稅法ヲ施行スルヨリ外ナイノデアリマス、稅法ヲ施行スルコトニ致シマスレバ何所ニ某ノ製造所ガアツテ、幾ラノ酒ヲ造ルト云フコトハ兎ニ角、取締ガ付キマス、サウナリマスレバ製造者ガ造ラタ所ノ酒ヲドウ云フ風ニ何所ヘ出シテ、誰ニ賣ラタト云フコトガ直キニ分リマスカラ密輸出ノ取締ガ之ガ爲ニ十分出來ルト云フ結果ヲ來タシマス、ソコテ稅率ノコトニ付イテ研究ヲ致シタノデアリマス、取締ノ一方ヨリ見マスレバ内地ニ行ハレテ居ル所ノ酒造稅法ヲ其儘全部行ハバ足リテ居ルノデアリマス、沖繩縣ノ事情ハ御承知ノ通り内地ノ狀態ト生活ノ狀態ガマダ今日ニ於テハ同シヤウデアルトハ申サレマセヌ、餘ホド變ラタ所ガアリマス、即チ内地ニ比シマスルト一般ニ低イト申サレバナリマセヌ、サウ云フ所デアリマスカラ今マテ酒造稅ヲ拂テ居リマセヌ所ノ酒ニ一躍シテ一石二十五圓ノ稅ヲ課ケルト云フコトハ餘ホド酒ノ値段ニ急激ノ變動ヲ與ヘルコトニナラウト思ヒマス、從テ沖繩縣ノ消費シテ居リマス所ノ泡盛燗酒ノ値段ヲ餘リ急激ニ上ケルコトニナリマス、彼等ノ日常ノ嗜好品トシテ飲ンデ居ル所ノ燗酒ノ價段ヲ餘リ急激ニ上ケルコトハ是ハ穩デナイダラウト云フ所カラ凡ソ内地ニ行ハレマス所ノ稅率ノ三分ノ一ヲ課スルト云フコトガ相當デアラウ、即チ沖繩縣民其他ニ直チ今日ノ高イ稅率ヲ適用スルト云フコトハ餘リ急激デアラウト云フコトヲ以テ三分ノ一ノ程度ト定メタノデアリマス、ソレカラ小笠原島伊豆七島ト云フコトモ酒造稅ヲ施行スルコトニナラズ居リマスガ、小笠原島ニ於キマシテハ今日マテノ狀況デハ氣候ノ關係上、普通ニ申シマス所ノ清酒ト申シマスノハ此地デハ十分ニ出來マセヌサウデアリマス、餘リ暖イ爲ニ十分ニ出來マセヌサウデス、併シ清酒以外ノ燗酒其他ニ至リマシテハ暖イ地方デモ矢張り出來マシ、今日小笠原島ニハ盛ニ酒ヲ造リツ、アルトハ見デハ居リマセヌガ、此地方モ稅法ヲ施行地ニ致シテ置キマセヌト、此所ガ色々ノ密造密輸出ト云フヤウナ根據ニナルヤウナ實ガアリマスカラ、是又取締ノ爲ニ稅法ヲ施行スルト云フ趣意デアリマス、是等ノ地方カラハ稅法ヲ施行イタシマシタ所ガドレ程ノ收入ガ上ルト云フコトハ未ダ見据ハ付キマセヌ、主トシテ取締ヲ十分ニシヤウト云フノガ目的ニナラズ居リマス、ソレカラ此法案ハ先キニ御決議ニナリマシタ所ノ酒造稅法ノ改正案ト關聯ラ致シテ居リマシテ、先キニ御決定ニナラズ所ノ改正案ニ據リマスト云フコト、第三十八條乃至第四十條ヲ削ルト云フコトガ酒造稅法ノ改正案ノ中ニアリマス、此三十八條ハ沖繩縣小笠原島伊豆七島ニハ酒造稅法ヲ施行セスト云フ法文デアリマス、ソレヲ削ルノデアリマス、サ

ウ致シマスレバ沖繩縣ニ酒造稅法ヲ施行スルコトニテ來マスカラ、此儘ニシテ置キマ  
スト沖繩縣小笠原島伊豆七島ニハ内地同様ニ今回増稅ニナリマシタ所ノ稅法ガ直  
ニ行ハレルト云フコトニナリマスカラ、沖繩縣ノ事情トシテハ先刻モ申上ゲマスカラ、  
同様一躍シテ輕クナイ所ノ造石稅ヲ課スルノハ相當デナイト思ヒマスカラ、三分ノ一  
程度ニ於テ、輕イ程度ノ稅率ヲ以テ酒造稅法ヲ沖繩縣ニ施行スルト云フコトハ此際御  
審議ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ御質問ニ依リマシテ御答ヲ致シマス

○木村善太郎君 唯今ノ御說明ニ依リマシテ伺ヒタイトハ、酒造稅法改正案ト此  
案ハ關聯シテ居ルト云フコトハ我々モ承知シテ居リマスガ、唯今御述ベノ沖繩縣及小笠  
原島伊豆七島ニ酒造稅法ヲ施行セスト云フ條ヲ削リテ付イテハ是ヲ早クヤラシナラヌ  
ト云フ御說明デアリマシタガ、アノ酒造稅ノ改正法見マスト發布ノ日ヨリ施行スルコト  
ニ、タシカナッテ居リマシタガ、若シ間違テ居リマスカラ私ノ心得違ヒテ  
アリマスガ、發布ノ日ヨリ施行スルコトニテ居リマスガ、本案ハ四十一年十月一日ヨリ施行  
スルトナッテ居リマスガ其間ハ先刻御述ベノヤウニ沖繩縣其他ニモ内地ト同額ノ稅ヲ課  
スルヤウニナリハシマスマイカ、其コトヲチヨット伺ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 先刻、私ノ說明ガ少シク足りマセヌヤウデアリマスガ、  
私ノ本案ヲ說明シマスノハ之ヲ早ク御決メテ願ヒタイト云フコトヲ述ベタノデナカッタデ、  
酒造稅法ノ改正案ノ如ク二十八條ヲ削リテハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ  
施行スルコト云フデアリマシテ即チ本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十八條削除  
ニ關スル規定ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行スルコトアリマスカラ、沖繩縣ニ對シ  
テハ稅法ガ四十一年十月一日ヨリ施行セラレルト、斯ウ云フ順序ニナリマス、唯關聯ヲ  
シテ此法案ヲ御決定ヲ願ヒタイト申シマシタ趣意ハ、此法案ガ確定ニナリマセスト、沖繩  
縣ニハ増稅ニナッタ所ノ高イ稅率ノ酒造稅ガ十月一日カラ施行セラレルコトニナル、其  
邊ガ差支ガ生シマスカラト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス

○千坂高雅君 チヨット伺ヒテ置キタイノデアリマスガ、沖繩縣ノ是マデノ燒酎ノ稅ハ  
ウ云フコトニシテ取テ居ッタノデアリマスガ、稅ノ高ハドノ位ナモノデゴザイマスガ  
○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御尋ネノ沖繩縣ニハ營業免許稅ト云フノガゴザイマ  
ス、サウシテ造石高ノ多少ニ拘ラズ、月額二圓ヲ課シテ居リマス

○千坂高雅君 シテ見マスト今度歩合ニナッテ賦課スルノモ、月額二圓ト云フヤウナ  
稅率ニ當坎メマシテ、今マデ稅ガ無イ所へ、政府ハ輕イ稅ヲ課ケルヤウナ、其實非常ニ  
重イモノニナリハセヌカト懸念スルガ、三分ノ一トカ二トカ云フ割合ハ、御見込ハドノ位  
井取レル御見込カ、ソレヲ伺ヒテ置キタイ  
○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御尋ネノ要點ハ今日ノ月額二圓ノ免許稅ト今度ノ  
造石稅ノ三分ノ一トヲ比較スルト、今回ノ方ガ稅ガ高クナルカドウカ、斯ウ云フ御尋ネデ  
ゴザイマスガ  
○千坂高雅君 左様……  
○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御尋ネノ通り高クナリマス  
○千坂高雅君 其御見込ハドノ位……  
○政府委員(櫻井鐵太郎君) ドノ位ト云フ御尋ネデアリマスガ、今日マデノ營業

免許稅デ、造石高ノ多少ニ拘ラズ二圓ト云フノデゴザイマスガ、造石高ノ多イモノニハ  
輕ク當リマス、少イモノニハ比較的強ク當リマスカラ、之ヲ均ラシテ比較スルト云フコトハ  
餘程ムツカシウゴザイマス

○男爵小澤武雄君 千坂君カラノ質問ニ、今マデノ免許稅ト今度ノ三分ノ一ト云フ  
モノトヲ比較シテ見タラバ、ドレ程ノ差ガアルカト云フ質問デアッタ所ガ、ソレハドウモ比  
較スルコトガ出來ナイト云フ御答辯デアッタヤウデス、私ハ同ジコトデアルケレドモ、他ノ方  
面カラ御尋ネシテ見タイ、ソレハ三分ノ一ト決メルト云フコトノ根據ハ、ドウ云フコトヲ根  
據トシテ三分ノ一ナラバ宜カラウト云フ算當ガ出ルノカ、之ヲ一ツ願ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 三分ノ一ト定メマシタノハ、詰リ程度ト申上ケルヨリ  
外ニ理由ハゴザイマセヌ、沖繩縣ノ泡盛燒酎ハ一石凡ソ……是ハ一兩年前ノ調ベデ  
ザイマスガ、一石十八圓八十錢イタシテ居リマス、ソレデ此泡盛燒酎ハナカク強イ、  
酒精分ヲ餘計含シテ居ル飲料デゴザイマス、酒精分ガ四十五度以上アリマス、丁度内  
地ノ精酒ニ比ベマスト、先ヅ二倍強イ酒デアル、ソレヲ今日マデハ、ナカク多量ニ飲  
ンデ居ル、沖繩縣ノ泡盛燒酎ヲ飲ミマスル高ハ、一八平均七升二合デアリマス、七升二  
合ハ内地ノ清酒ヲ飲ム割合ノ七升二合一合ニ比ベマスト分量ハ似テ居ルヤウデアリマスガ、  
詰リ三倍強イ「アルコール」ヲ飲シテ居ル、斯ウ云フ風ニナッテ居ル、ソレデ先ヅ十八圓八  
十錢ガラ井今日イタシテ居リマスガ、ソレニ稅ヲ課ケタラバ、必ズソレケケ泡盛ノ直段  
ハ上リマセウ、上リマセウガ、唯今申シマスル通りニ餘ホド強イ酒デアリマスルカラ、直段  
ガ上レバ隨テソレヲ飲ミマスニモ水ヲ割テ飲ムト云フヤウナ風モ起テ參リマセウシ、サウ  
云フヤウニスレバ一石二十五圓ト云フ内地ト同様ノ稅ガ課カリマシテモ、沖繩縣民ガ直  
ニ其價格ノ稅ヲ負擔スルト云フコトニハナリマスマイ、水ヲ割テ飲ムト云フ習慣デモ段々  
出マスカラ、飲ミ方モ減テ來ルヤウニナラウト思ヒマスカラ……唯沖繩縣民ノ生活ノ程  
度ハ、今日ノ所、内地ヨリハ餘ホド低イノデ、先キニ此問題ヲ研究イタシマストキニ、内地  
ノ造石稅ノ三分ノ一グラ井課シテモ宜カラウ、斯ウ云フ論モアッタノデゴザイマス、併シ又  
段々研究イタシマスト云フト、ソレヨリモ少シ低イ方が宜カラウ、即チ三分ノ一グラ井ガ適  
當デアラウ、稅法ノ取締ノ法ノ一點カラ申シマスト、成ルベク酒造稅法ハ全國一律ニ行  
キタイノデゴザイマス、沖繩縣デモ矢張り内地ト同様ノ稅ヲ課シマスカラ、沖繩縣ノ酒類  
出港稅ナドト云フモノヲ設ケヌデモ宜シイノデゴザイマシテ一律ニ行ク方が取締ノ方カラ  
申セバ誠ニ輕便デハゴザイマスケレドモ、沖繩縣ノ如キ内地ト生活狀態ノ違テ居ル地  
方ニハ其點ハ斟酌シナケレバナルマイ、其斟酌ノ程度ガ三分ノ一グラ井デ宜カラウ、斯ウ  
云フコトニナッタノデ、稅額ノ稅率ノ割合トカ云フ點カラ計算ヲ致シマシテ三分ノ一ト云  
フ程度ヲ決メテ譯デアゴザイマセヌ、唯今申シマスカラ趣意デ程度ヲ決メマシタ次第デ  
ゴザイマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 先刻、千坂君ノ御尋ネデアリマスガ、御參考マデニ  
申シマスガ、沖繩縣ノ泡盛燒酎ガ二十九年ニハ凡ソ八万石デゴザイマス、ソレデ免許稅  
ガ四千圓デゴザイマス、ソレデアリマスカラシテ一石ニ對シテ免許稅ヲ割リマスト一石ニ  
五十錢、斯ウ云フヤウナ極ク輕イモノガ出マス

○千坂高雅君 今日、參考書ヲ拜見スルト八十方バカリ今度ハ取レルヤウナ算用ニナ

○千坂高雅君 今日、參考書ヲ拜見スルト八十方バカリ今度ハ取レルヤウナ算用ニナ

リマスガ、サウデゴザイマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今ノハドレヲ御覽ニナリマシタカ

○木村善太郎君 今、千坂君カラノ御尋ネニ付イテ私ノ思ヒマスル所ヲ言テ違ヒマスカ違ヒマセヌカ、チヨット伺ヒタイ、此造石高カ二十九年デ七万七千二百八十石トアリマス、此中出港税ニカ、ル石數ガ即チ一万八千八百石、此七万七千石カラツレテ引キマシタアトガ五万八千四百石ハカリニナルヤウデアリマス、ソレニ三分ノ一ノ税額ヲ乗ケテ見マスト略、全額ガ出ルヤウニ思ヒマスガ、サウデゴザイマスカ

○政府委員(菅原通敬君) 唯今ノ御尋ネニ御答ヘテ致シマスガ、御説ノ如ク二十九  
年ノ情況ニ依リマシテ計算テ致シマス、サウデゴザイマスノデアリマスガ、酒造稅  
法ヲ沖繩縣ニ施行イテマシマシタ結果ハ、從來ノ通り一石五十錢クラ井ノ免許稅テ、製  
造イテマシマシタトキヨリ製造石數ガ減テ參ルモノト見ナケレバナリマセヌ、茲ニ差引イテ  
直チニ出マシタ石數ガ後ニ殘ルモノデアルト斯ウ見ルコトハ出來マイト考ヘマス、尙ホ申  
上ゲテ置キマスガ、茲ニ參考書ニ差上ゲテ置キマシタ沖繩縣ノ燒酎ノ製造場數及石高  
ト云フ所デアリマスガ、最初申上ゲマシタ通り沖繩縣ニハ未ダ酒造稅法ヲ施行イテマシ  
居リマセヌノデ、唯免許稅ヲ取テ居マシタ過ギマセヌカラ、其製造石高ト云フヤウナモノ  
ハ極メテ正確ナルモノデアルト云フコトハ申上ゲ惡クイノデアリマス、凡ソ此位ノモノデア  
ラウト云フコトハバ色、ミノ材料カラ推算イテマシタニ過ギナイノデ、此表ヲ御覽クダサイマ  
スニ付イテモ此石數ハ餘リ正確ナモノデアリト云フコトヲ御承知置テ願ヒマス

○委員長(伯爵正親町實正君) 十月一日ヨリ施行スト云フノハドウ云フ譯デアリマ  
スカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 十月一日ハ御承知ノ通り酒ノ方デ申シマス、年度ノ  
境目ニナツテ居リマス、ソレヲ押ヘマシテゴザイマス

○委員長(伯爵正親町實正君) 詰リ次ノ年度ノ釀造カラ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 次ノ釀造年度ヨリ、詰リ第四十一釀造年度ノ初マリ  
ヨリ、斯ウ云フ意味デアリマス

○委員長(伯爵正親町實正君) モウ別ニ御質問ガゴザイマセヌケレバ討議ニ移リマ  
ス、本案全部ヲ問題ニ供シマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵正親町實正君) 御異議ガゴザイマセヌケレバ原案ノ通り可決ト認メ  
マス

○委員長(伯爵正親町實正君) 次ハ沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 此案ハ至極簡單ノ法案デアリマシテ説明ヲ申上ゲル  
マデモナイト存シマスガ、唯今御決議ニナリマシタ如ク沖繩縣ハ酒造稅法第四條ニ依  
ル造石稅ヲ三分ノ一ト致シマスル以上ハ沖繩縣酒類出港稅則中ノ第一條ニ規定ノア  
リマス「第四條ノ稅率ニ依リ」ト斯ウアリマスノヲ即チ三分ノ一引キマシタ所ノ三分ノ二ト  
致シマス、今日マデハ沖繩縣ニハ酒造稅法ガ全部行ハレテ居ラナカッタ、ソレ故ニ酒造稅  
法第四條ニ依ル規定ノ造石稅ヲ全部取ル必要ガアル、併シ沖繩縣ニハ此稅法ハ行ハ  
レナイ、三分ノ一造石稅ヲ取リマス以上ハ出港稅トシテ共三分ノ二ヲ取テ相當デアラ

ウト、斯ウ云フコトデ、第一條ノ改正ヲ要シマス次第デアリマス

○伯爵柳原義光君 チヨット伺ヒマスガ、是ハ沖繩ノ港ヲ出ルトキニ、例ヘバ自分ガ飲  
ムトカ言テ極少イ分量ノ酒ヲ持ッテ居ルトキハ矢張り之ニ當嵌ルノデアリマスガ、丁度  
稅關デ自家用トシテ酒トカ煙草トカ分量ヲ限ッテ稅ヲ課シマセヌガ、恰モアノ如ク自分ガ  
船ノ中デ飲ムトカ内地ヘ持ッテ歸ルノデモ極少イ分量ノ少イ場合ニハ見逃ガスト云フコトガ  
アリマスガ、ドウデアリマスガ、全然假令僅ナ量デモヤルノデアリマスガ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御尋ネノ通りデアリマシテ、船中ノ自分ノ飲料ト云フ  
ヤウナモノニハ課稅イテマセヌ

○伯爵柳原義光君 ドノ位ノ分量マデ限リガアリマスガ、三合トカ五合トカ一升ト  
カ……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 別ニ數量ヲ限ッテ決メタモノデハゴザイマセヌ、先ヅ見  
計ヒテ今日マデヤツテ居リマス

○伯爵柳原義光君 分リマシタ

○委員長(伯爵正親町實正君) 是モ別段原案デ御異議ガゴザイマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵正親町實正君) 原案ノ通り決シマス

○委員長(伯爵正親町實正君) 次ハ酒母、醪及麴取締法中改正法律案

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 此改正案、是モ亦前キニ御決議ニナリマシタ所ノ酒  
造稅法ノ改正案ト鈞合ヲ取りマシテ取締ノ周到ヲ期スル爲ニ改正ヲ必要ト致シタ次第  
デアリマス、即チ前キニ御決議ニナリマシタ所ノ酒造稅法ノ中ニハ免許ヲ受ケスシテ酒ヲ  
造マタ者ハ相當ノ罰金ヲ科シマシテ、尙ホ其製造イテマシタ所ノ酒又容器器具機械ヲ  
沒收ス、斯ウ云フコトガ前キノ酒造稅法ノ改正ニ依テ規定サレマシタ、酒母、醪及麴  
ニ付イテモ同様、無免許者ノ制裁トシテハ容器器具機械ヲ沒收イテマシマシテ、再ヒ犯  
則ヲスル場合ニ容器、器具、機械等ガ沒收サルレバ、其犯則ヲヤラウトスルコトガ成ル  
ベクヤリ惡ク、ナルグラウ、斯ウ云フコトデ酒造稅法ノ改正ト同様ナ趣意デ第九條ノ改正  
ヲ要スル次第デアリマス、第十八條ノ二ノ改正モ亦酒造稅法ノ改正ト同様ノ趣意デ  
アリマシテ、別ニ之ヲ委シク申上ゲル必要モ無ト存シマス、要スルニ酒造稅法ノ改正  
ニ伴ヒマシテ、酒母、醪及麴ノ取締法、斯ウ云フモノモ互ニ聯關シテ居リマス法律デア  
リマスルカラ改正ヲ必要トスルト云フニ過ギヌノデアリマス

○子爵牧野忠篤君 十八條ノ二ニ「本法ヲ施行セザル地ニ於テ」云々トアリマスガ、成  
ルホド今マデ二十一條ニ沖繩縣及東京府下小笠原島伊豆七島ト云フモノガ今マデ施  
行シナイ土地ニナツテ居リマスガ、其他ニ本法ヲ施行セザル土地ト云フヤウナコトハ無イヤ  
ウニ思ヒマスガ、臺灣トカ何トカ云フノヲ指スノデアリマスガ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今御尋ネデアリマスガ、沖繩縣ハ施行地トナリマス、  
サウシマスト本法ヲ施行セザル地ト申シマスト、樺太、臺灣、ソレ等ガ施行セザル地トナリ  
マス

○委員長(伯爵正親町實正君) 別ニ御質問ガゴザイマセヌハ討論ニ移リマス、本案  
全部ヲ問題ニ供シマス、……原案ノ通り御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵正親町實正君) 御異議が無クハ原案ニ決シマス

○委員長(伯爵正親町實正君) 次ハ煉乳原料砂糖戻稅法案

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 此法案ハ内地ノ煉乳ノ製造業ヲ獎勵シマスルタメニ、

煉乳ノ原料トシテ使ヒマス砂糖ニ消費稅ヲ課ケヌヤウニスルト云フ趣意デゴザイマス、即

チ課ケマシタ所ノ消費稅ニ相當スル金額ハ下付スルト云フコトニ致シタイノデアリマス、デ

内地ノ煉乳業ト云フモノハモウ皆様、疾クニ御承知デアラウト存ジマスルガ、砂糖消費

稅ノ施行ニナリマスル前マデハ、ナカク、發達ヲ致シタイデアリマス、二十四年頃ノ調ベテ

見マスト云フト、十五万箱セラ井ハ内地テ出來マシタ、隨分外國カラ輸入スルモノモ少

クハアリマセヌケレドモ、其位マデ内地テ出來ルヤウニナツタノデアリマス、ソレガ御承知ノ

通り三十四年ノ十月カラ砂糖ノ消費稅ガ實施サレマシテ、其後一回、二回ト砂糖ノ

消費稅ガ増シテ參ッテ、段々ト砂糖ガ高クナツテ參リマシタ、デ煉乳ノ製造ニハ御承知ノ

通り煉乳ノ八九分ハ砂糖デアリマス、砂糖ハ煉乳ニ付イテノ原料ノ大部分ヲ占メテ居

ルモノデアリマス、此砂糖ノ高クナツタト云フコトハ、煉乳業者ニ取ツテ少カラヌ苦痛デアリ

マス、ソコデ一方外國カラ這入リマスル煉乳ノ情況ヲ見マスト云フト、ナカク、數量ガ

少クアリマセヌ、二十一年頃ハソレホド多クモアリマセヌガ、三十八年頃ニナツテ參リマス

ト、價格ニ致シマシテ百六十方圓ホド輸入シテ居リマス、サウシテ外國ノ煉乳ニハ御承

知ノ通り協定ノ稅率ガ定メラレテ居リマス、協定稅率ハ從價五分デアリマス、從價五

分ト云フ甚ダ輕イノデアリマシテ、從價五分、ソレヲ「ダース」ニ勘定イタシマスト云フト一

「ダース」僅二十二錢三厘ト云フ輕イ稅ヲ拂テ外國カラ這入リマス、内地ノ煉乳業者

トシテハ外國ノ煉乳ハ廉イ稅ヲ以テ這入ル、内地ニ於テハ消費稅ノ高ク課カヌ砂糖ヲ

以テ造ラネハナラヌト云フコト、段々ト打撃ヲ受ケマシテ、内地ノ煉乳業ト云フモノガ衰

ヘテ參リマシタ、近年デハ最早誠ニ微々タル產額ニ止マツテ居ルノデアリマス、サウ云フ狀

態ヲ認メマシタ以上ハ、今日砂糖ノ消費稅ガ段々ト上リマシテ、殊ニ今回又消費稅ガ

増稅トナルト云フヤウナ有様デアリマス以上ハ、之ヲ何トカ救済スル法ヲ講ズル必要ガア

ルト考ヘマシテ、内地ノ煉乳業ノ實際ヲ能ク調ベテ見マシタ所ガ、煉乳ハ御承知ノ通り

製造後、新シイモノガ最モ宜シイノデ、製造後、日ノ經ツタ古イモノハ誠ニ宜シクナイノデ

アリマス、デ内地ニ於テ新鮮ナル牛乳ヲ以テ製造シタ所ノ煉乳ヲ新シイモノヲ一般ノ人

ガ使フト云フコトハ至極宜イコトデアリマスカラ、其點カラ見マシテモ内地ノ煉乳業ガ興

ルニ於テハ相當ノ保護獎勵ヲスル必要ガアル、又或レ說ニハ日本デハ到底純良ナ煉乳

イ、立派ナ物ガ出來ルノデアリマス、タマ内産外産ノ稅ノ負擔ガ鈞合ラ得マセヌ爲ニ内

國産ガ發達スルコトガ出來ナイ、實況ニアルモノト考ヘマスルノデ、茲ニ今回戻稅法ヲ設

ケマシテ煉乳ノ原料ニ用井マシタ所ノ砂糖ノ消費稅ハ返シテヤラウ、斯ウ云フ規定ヲ設

マシテ煉乳業ノ相當ニ成立チマスルヤウニ致シマスコトニ致シタイ、斯ウ云フ趣意デゴザイ

マス、ソレデ此原案ニハ附則ニ於テ「明治四十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」トアリマ

ス、之ニ對シテ衆議院ノ修正ガゴザイマシテ「四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト修

正サレマシタ、之ニ政府ハ同意ヲ表シテ居リマス、其理由ハ此法案ヲ研究イタシマシタト

キハ一兩年前デアリマシテ、又此法案ヲ整理案トシテ提出イタシマシタノハ大分、前デ

アツタノデアリマス、所ガ其後、砂糖消費稅ト云フモノガ今日デハ増徴ニナルト云フ實況

ニナツテ居リマスルデ、サスレバ一兩年前ニ考ヘマシタヨリハ尙更ラ煉乳業者ニ相當ノ救

濟ヲ早ク與ヘルガ宜カラウト云フコト、施行期ヲ早メルト云フ修正ニ政府ハ同意ヲ致シ

タ次第デアリマス

○千坂高雅君 今、御演說ノアツタコトハ謹ンデ拜聽シマシタ、誠ニ是ハ現政府ニシテ

ハ良イ案ト考ヘマス、所デ是マデ此煉乳ノ取締ト云フガアルデアラウト思ヒマスガ、若シ

是ガ取締が無イト云フト矢張り粗惡……戻稅ヲシテヤツテモ煉乳ガ粗惡ニ流レル恐レガ

アリマスガ、其取締法ハ立ツテ居リマスガ、居リマセヌカ、伺ツテ置キマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 煉乳製造ノ取締ニ付イテ將來ノ考ハドウカト云フ御

尋ネデゴザイマシタガ、今日マデノ所デハ一般ノ衛生上ノ取締ハ無論受ケテ居ルニ相違

ナイノデアリマスガ、今日マデ特ニ煉乳ハ斯ウ云フ試驗ヲ經タモノデナケレバ賣ルコトヲ許

サヌトカ、製造ヲ許サヌトカ云フ特別ノ規定ハ無イ様デアリマス、將來斯ウ云フ戻稅ノ

途ガ開ケマシテ、煉乳ノ製造ガ盛ニ起ルコトニナリマシタ以上ハ、是ハソレノ當局ト

能ク打合セラ致シマシテ、衛生上カラ危險ノ無イ様ニ又粗惡ナル物ノ出來ヌ様ニ取締

ヲ致サウト考ヘテ居リマス

○鎌田榮吉君 此砂糖消費稅ハ外國ニ於テモ色々課カルデアリマセウガ、砂糖消費

稅ト云フモノハ何所ノ國ニテモ課ケテ居リマス様デアリマス、而シテ其消費稅ノ課カヌ

砂糖ヲ使ツテ煉乳ヲ造ツテ、而シテ運賃其他ヲ拂テ日本ヘ持ツテ來ルノデアリマスガ、尙

ホツレテモ外國品ノ方ガ廉クテ内國産ヲ壓倒スルト云フコトデアリマスガ、或ハ現ニ市中

デ賣ルノ内國品ハ外國品ヨリ廉クテモ尙ホ外國品ガ賣レテ内國品ガ賣レナイ様ナ傾

向ガアル爲デアリマセウカ、成ルホド其御說明ニ依ツテ見ルト砂糖消費稅ノ課カヌ其時ヲ

境トシテ内地ノ煉乳業ガ衰ヘタトスレバ、全ク砂糖消費稅ノ爲ニ衰ヘタ様ニ見エマスガ、

實際市場ハ種々複雑ナ關係ノアルモノデアリマスカラ、唯砂糖消費稅ヲ戻セバ果シテ此

煉乳業ハ復興シテ來ルモノカドウカト云フコトハ、モウ少シ伺ハヌト分ラヌ様デアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今ノ御尋ハ至極御尤モト思ヒマス、我々モ此案ヲ

案出シマスマデニハ御問ヒノ如キ疑問ヲ起シテ色々研究ヲシマシタノデアリマス、デ今日

煉乳ガ市場ニ於キマシテ色々ノ商標ヲ以テ販賣サレテ居リマス、其中ニハ隨分外國品デ

古ク日本ニ賣リ込シテ聲價ヲ博シテ居ルモノモアリマス、サウ云フモノハ隨分其ノ嗜好

ニ依リマシテ、中ニハ外國品トサヘバ何デモ宜イト云フ様ナ考ヘガ今日世間一般ニ

餘ホド染ミ渡ツテ居ル様ニ思ヒマス、サウ云フコトデアツテ、需要者ノ中ニハ何デモ外國品

情ダラウト思フ、製造ノ技術ニ於テモ日本ニ於テ決シテ煉乳ガ出來ナイト云フコトハナ

ラナイ



デナケレバナラスト云フ様ニ考ヘテ、外國品ノ方ガ直ガ高クテモ買フト云フ風ニナッテ居ルモノモアリマス、煉乳ノ如キモサウ云フ一般ノ感情ニ依ッテ、内國産ヨリハ外國品ノ方ガ宜イト云フ様ナ風ニナッテ、實際ノ品質ハ良クナイモノモ却ッテムレガ高ク賣レテ居ルト云フコトモアル様デアリマス、ソレハ先ッ別ト致シマシテ、兎ニ角其煉乳ノ製造ニ砂糖ガドノ位掛カルカト云フコトカラ算出ラ致シテ見マスルト、此煉乳ノ製造ニハ多ク第四種ノ砂糖ヲ使ヒマス、其税金ハドレホド負擔シテ居ルカト云フト、一箱ノ煉乳ヲ製造スルノニ、砂糖ヲ幾ラ使フカト云フコトカラ勘定イタシマス、ドウシテモ其煉乳ノ製造ニ要シマスル製造費ノ大部分ハ砂糖ノ價ニ歸著スル、何レノ方面カラ見テモサウナル様デアリマス、牛乳ト云フモノハ誠ニ僅カナ計算ニホカナリマセヌ、是等ノ點カラ考ヘマスルト、ドウモ内國産ノ煉乳ガ衰ヘタト云フコトハ、砂糖消費稅ノ負擔ニ歸スルヨリ外ニナイト考ヘマス、品質ノ優劣ト云フコトハ先刻申シマシタガ、衛生試驗所ノ試驗ヲ致シタ成績モアリマス、今日外國カラ入りマスモノニモ大分有名ナ鷲印「コンデンスミルク」ト云フ様ナモノガアリマスガ、ナカノ其品質カラ云ヘバ日本モ優等ノモノヲ製造スル様ニナッテ居リマス、砂糖ノ消費稅ノ關係ニ依リマシテ煉乳業者ノ負擔ガ緩ムト云フコトニナレバ、必ズ煉乳業ガ興リマスコトハ疑ヒナイト考ヘテ居リマス

○**鎌田榮吉君** 尙ホ伺ッテ置キマスガ、價格ノ方ハドウ云フコトニナッテ居リマス、例ヘバ百斤ニ付イテ外國品ト同シ品質ノモノヲ比較シマス、直段ハドウ云フ關係デスカ

○**政府委員(菅原通敬君)** 外國品ト内國産ノモノト同品質ノモノニシテ、價格ハドウ云フコトニナッテ居ルカト云フ御尋ネテゴザイマスガ、同様な品質ノ對照ヲシテ御答ヘスルコトハ少シ困難デアリマスガ、多分參考書トシテ差上ゲテアルト思ッテ居リマスガ、内外煉乳價格及税金ノ比較、ソレニ煉乳「ダース」當リノ平均價格ヲ外國産ノモノト日本ノモノト比較シテ御覽ニ入レマシタ、三十九年ノ價格ニ依リマスト外國産ノ方ガ二圓四十二錢三厘、内國産ノモノガ二圓三十二錢六厘ト云フコトニナッテ居リマス、其他之ニ依テ御覽ヲ願ヒタイ

○**柴田家門君** アマリ巨額デハゴザイマスマイガ、今ノ煉乳ニ關係シテ砂糖ノ消費稅ヲ免除スル其影響ガ今日現在ハ微々タルモノデアラウガ、將來ノ凡ソノ見込額ヲ……

○**政府委員(菅原通敬君)** 現在ノ所ニ於キマシテ計算イタシテ見マスルト僅ニ八九千圓クラ并ノモノデアラウト思フ、ソレガ假ニ二倍ニナリマシタ所デ、歳出ノ上ニ大シク影響ハ無カラウト思フ

○**男爵松平正直君** 此通りテ行ケバ宜イノデアリマスケレドモ、是ダケ戻稅ヲシテモ外國品ガ此戻稅ヲ内地ノ産ヲ賣ルヨリ以下ニ價ヲ下ゲテ輸入スル虞ハナイカ、其邊ノ御調ガ付イテ居リマスガ、ドウカ

○**政府委員(櫻井鐵太郎君)** 唯今ノ御尋ネテゴザイマスガ、假ニ戻稅ヲシテ見タ所ガ尙ホ外國品ハ競争的ニ値ヲ下ゲテ持ッテ來ルカト云フ御心配デゴザイマスルガ、其點ハ私ドモノ考ニハ、サウ云フコトハ無カラウト思ヒマス、ナゼナラバ今日マデノ外國カラ参リマス「コンデンスミルク」ノ直段ト云フモノハ、外國ノ各國ノ煉乳ガ競争ノ上ニ直段ガ定マツテ日本ニ這入ッテ參ル、ソレ今日マデ日本製造サレル煉乳ガ澤山アリマス、ソレト鈞合ヲ取ッテ今日マデ煉乳ノ直ガ定マツテ居ル譯デアリマセヌ、唯今ノヤウナ心配ハ無カラウ

ト考ヘマス

○**男爵松平正直君** 重モニ何所ノ「コンデンスミルク」ガ這入リマスカ

○**政府委員(櫻井鐵太郎君)** 亞米利加、獨逸、英吉利、其内一番多ク這入リマスノガ亞米利加デアリマス

○**伯爵柳原義光君** 是マデ盛ニ日本テ煉乳ヲ製造シテ居タ時分ニハ歐米ニハ到底イケマセヌデアラウガ、清韓兩國クラ并ニハ可ナリ輸出シタモノデスカ、ドウデスカ

○**政府委員(櫻井鐵太郎君)** 三十四年ニハ、先刻申上ゲマシタガ、十五万箱クラ并マデ出來タノデアリマスガ、マダ餘所ヘ出ルト云フヤウニハナッテ居リマセヌ、輸出ト云フコトハ餘リ見マセヌ

○**委員長(伯爵正親町實正君)** 御質問ガ濟ミマシタナラバ討議ニ移リマス、本案全部ヲ議題ニ供シマス、衆議院ノ送付案通りヲ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○**委員長(伯爵正親町實正君)** 其通り決シマス

○**木村善太郎君** 地方稅制限ニ關スル法律案ハ色々參考書モ過日政府カラ御送付ニナリマシテゴザイマス、是ハ餘ホド込入ッタ問題デゴザイマスカラ、質問ヲシマスルニ付イテモ能ク調ベマシテ質問ヲ致シタイト思ヒマスカラ、ドウカ此案ノ委員會ハ質問ヲシマスルノニモ二三日置イテカラ御開キヲ願ヒタイト思ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○**委員長(伯爵正親町實正君)** 然ラバ本日ハ是デ散會イタシマス、次ノ時日ハ追テ御報告イタシマス

午前十一時二十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵正親町實正君

委員

伯爵柳原 義光君 子爵牧野 忠篤君 男爵松平 正直君  
 男爵小澤 武雄君 小松原英太郎君 江木 千之君  
 男爵高崎 安彦君 男爵吉川 重吉君 男爵青山 元君  
 千坂 高雅君 柴田 家門君 大谷嘉兵衛君  
 木村善太郎君 鎌田 榮吉君 宮崎喜久太郎君

政府委員

内務次官 吉原 三郎君 兼内務省事務官  
 内務省地方局長 床次竹二郎君 兼内務省事務官  
 大藏省主稅局長 櫻井鐵太郎君 兼内務省事務官  
 大藏書記官 菅原 通敬君